ボーリング柱状図

調査名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)
事業・工事名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo.	5	0	3	4	6	4	3	8	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内			北緯	33° 51' 57.9978"
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター	調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日			東経	134° 36' 16.3531"
調査業者名	株式会社 エオネックス 電 話 076-238-1181	主任技師	南澤 正幸	現場代理人	遠田 渉	コア鑑定者	村中 英寿
ボーリング責任者	越田 健一郎						
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	TL-2000					
総掘進長	200.40m	エンジン		ポンプ	MG-40		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1				盛土	黄褐						深度0～7.5mは盛土と推定される。
2											
3											
4											
5											
6											
7	28.23	7.50									
8				頁岩	灰褐						深度7.5～160m区間はスライム採取・観察。深度7.5～22.50m区間は、頁岩優勢であり、深度15m付近のスライムは砂岩がやや優勢。深度13mまでは、褐色風化岩片を多く含む。深度7.5～20mのスライムは砂岩・頁岩が混在し、頁岩優勢。深度15m付近は若干砂岩優勢。深度13m～16m区間はわずかに褐色風化岩片が確認される。
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17					暗灰						
18											
19											
20											深度20m付近で頁岩優勢。深度20mのスライムは砂岩・頁岩。
21											
22	13.23	22.50									
23				砂岩							深度25m, 30m, 40mでは灰色砂岩スライムが確認されることから、深度22.50～45m区間は砂岩優勢と推定される。
24											

標尺 m	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%] (0 20 40 60 80)	岩級区分	孔内水位/測定月日	ルジオン試験 ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図 (P：有効注入圧力 MPa, Q：注入量 l/min/m, ( )：換算ルジオン値, (( ))：限界圧力)	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 1/分	排水量 1/分
1			2/12 1.40							400/ケーシング						
2									107			500	40			
3																
4														2	泥水	
5								12 14								
6									38			1200	40			
7								12 15								
8																
9									81	300/ケーシング		800	40			
10			3/18 10.26													
11								12 16								
12														3	泥水	
13																
14									54							
15																
16												1000	40			
17								12 17		374	ダブルコアチューブ					
18									112							
19																
20								12 20		150/ケーシング				3	泥水/500	500
21																
22									104			1500	40			
23																
24																

ボーリング柱状図

調査名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)
事業・工事名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo.	5	0	3	4	6	4	3	8	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内			北緯	33° 51' 57.9978"
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター	調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日			東経	134° 36' 16.3531"
調査業者名	株式会社 エオネックス 電 話 076-238-1181	主任技師	南澤 正幸	現場代理人	遠田 渉	コア鑑定者	村中 英寿
ボーリング責任者	越田 健一郎						
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	TL-2000					
総掘進長	200.40m	エンジン		ポンプ	MG-40		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状区	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%] (0 20 40 60 80)	岩級区分	孔内水位/測定月日	ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図 P：有効注入圧力 MPa Q：注入量 l/min/m ( )：換算ルジオン値 (( ))：限界圧力	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
25				砂岩	暗灰						深度25mは灰色砂岩スライムが確認される。								12/21	104							
26																			12/26	13							
27																			1/8	15			2500	40	3	泥水/500	500
28											深度28.0m～28.4m付近若干軟質状況にある。								1/9	13							
29																			1/10	10							
30											深度30.7m付近から若干軟質状。深度30mｽﾗｲﾑは砂岩。								1/11	19							
31																											
32																			1/12	27			3500	40	3	泥水/500	450
33											深度33.70m付近に約50l/分の逸泥あり。トータル3立方メートル逸泥。																
34											深度34～35m付近は非常に硬い。								1/13	21					3	泥水/500	497
35					灰																						
36																			1/14	45			3500	46			
37																											
38																											
39																											
40											深度40mのスライムは灰色砂岩。深度41.5m～43.5m付近は若干軟質。								1/15	15							
41																											
42																											
43											深度43.5mから硬質。								1/16	33	150/ケーシング		5000	46			
44																											
45	-9.27	45.00		頁岩	暗灰						深度45m付近から所々粘土状区間あり。深度45～78m区間のスライムは全体に砂岩・頁岩から成り、部分的にペースト状のスライムが採取されることから全体に頁岩優勢と推定される。																
46																				70							
47											砂岩・頁岩互層は、両層が五分の割り合いかまたは若干頁岩が多いと思われる。																
48																			1/17								
49																											
50											深度50mｽﾗｲﾑは砂岩・頁岩。														3	泥水/500	500
51																											
52																											
53																				83			5500	46			
54																											
55																											

ボーリング柱状図

調査名　東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)

事業・工事名　東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo.	5	0	3	4	6	4	3	8	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内			北緯	33° 51' 57.9978"
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター	調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日			東経	134° 36' 16.3531"
調査業者名	株式会社 エオネックス 電　話 076-238-1181	主任技師	南澤　正幸	現場代理人	遠田 渉	コア鑑定者	村中 英寿
ボーリング責任者	越田 健一郎						
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	TL-2000					
総掘進長	200.40m	エンジン		ポンプ	MG-40		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状区	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%] (0 20 40 60 80)	岩級区分	孔内水位/測定月日	ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図 P：有効注入圧力 MPa Q：注入量 l/min/m ( )：換算ルジオン値 (( ))：限界圧力	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
55				頁岩	暗灰																						
56											深度56m付近からトルクがかかる。(クラックが多発している可能性がある)。																
57																			1/18								
58																											
59																				54							
60											深度60mのｽﾗｲﾑは砂岩・頁岩。																
61											時間当たりの掘進率が低下している。 特に61.49～65.68m区間。この区間はクラックが多発しているものと推定される。								1/19				6000	46			
62																											
63																				53							
64																											
65																			1/20	53							
66																											
67																				87							
68																			1/21								
69																											
70											深度70mのスライムはペースト状である。 クラック多発の可能性、また狭い間隔の頁岩層が連続している可能性が考えられる。																
71				頁岩	暗灰																						
72																				83							
73																							6000	46			
74																											
75																											
76																			1/22								
77																											
78	-42.27	78.00									深度78m付近から硬くなる傾向にある。深度80m付近のスライムが砂岩優勢であることから深度78～85m区間は砂岩優勢と推定される。									62							
79																											
80											深度80m付近のスライムでも砂岩・頁岩で砂岩優勢である。																
81																			1/23								
82				砂岩																							
83																				37							
84					暗灰																						
85	-49.27	85.00									深度85～128m区間はスライムが砂								1/24		150/						泥

ボーリング柱状図

調査名　東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)

事業・工事名　東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo.	5	0	3	4	6	4	3	8	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内			北緯	33° 51' 57.9978"
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター			調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日	東経	134° 36' 16.3531"
調査業者名	株式会社 エオネックス 電　話 076-238-1181	主任技師	南澤　正幸	現場代理人	遠田 渉	コア鑑定者	村中 英寿
ボーリング責任者	越田 健一郎						
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	TL-2000					
総掘進長	200.40m	エンジン		ポンプ	MG-40		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状区	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
85	-49.27	85.00		頁岩							深度85～128m区間はスライムが砂岩・頁岩が半々又は頁岩優勢であることから、頁岩優勢で砂岩挿入・混入の状況と推定される。。
86											
87											
88											
89											
90					暗灰						深度90mのスライムは砂岩・頁岩の両岩の割合が五分程度。
91											
92											
93											
94											
95											
96											
97											
98											
99											
100											深度100mのスライムは砂岩・頁岩互層の両岩の割り合いが五分程度。
101											
102											
103											
104											
105											
106											
107											
108											
109											
110											深度110mのスライムは粘土状である。
111											
112											
113											
114											
115											

コア採取率 ―×― (%)　最大コア長 ―●― cm　RQD ―― [%]　(0 20 40 60 80)

岩級区分	孔内水位／測定月日	ルジオン値	ルジオン試験 P－Q 図	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
			P：有効注入圧力 MPa Q：注入量 l/min/m ( )：換算ルジオン値 (( ))：限界圧力			24	36	150／ケーシング				3	泥水／500	500
							90			6500	46			
						1/28	84							
						1/30	84							
							107							

ボーリング柱状図

調査名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)
事業・工事名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo.	5	0	3	4	6	4	3	8	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内			北緯	33° 51' 57.9978"
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター	調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日			東経	134° 36' 16.3531"
調査業者名	株式会社 エオネックス 電 話 076-238-1181	主任技師	南澤 正幸	現場代理人	遠田 渉	コア鑑定者	村中 英寿
ボーリング責任者	越田 健一郎						
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	TL-2C00					
総掘進長	200.40m	エンジン		ポンプ	MG-40		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状区	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%] 0 20 40 60 80	岩級区分	孔内水位／測定月日	ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図 P：有効注入圧力 MPa Q：注入量 l/min/m ( )：換算ルジオン値 (( ))：限界圧力	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
115																				107							
116																											
117				頁岩	暗灰																						
118																			1/31				6500	46			
119																											
120											深度120mのｽﾗｲﾑは砂岩・頁岩で頁岩優勢。																
121																				65							
122																											
123																											
124																			2/1								
125																											
126																					150／ケーシング						
127																									3	泥水／500	500
128	-92.27	128.00									深度128m付近から硬くなる。									65							
129																											
130											深度130mのスライムは砂岩。								2/2								
131																											
132																											
133																											
134																				69							
135																											
136											深度136m付近から少し硬質。																
137				砂岩	灰														2/4								
138																											
139																							7000	46			
140											深度140mのスライムは砂岩。																
141																				86							
142																											
143																											
144																			2/5								
145																											
146																				63							
147																											

ボーリング柱状図

調査名　東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)

事業・工事名　東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo.	5	0	3	4	6	4	3	8	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内					北緯	33° 51' 57.9978"
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター			調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日			東経	134° 36' 16.3531"
調査業者名	株式会社 エオネックス 電　話 076-238-1181	主任技師	南澤　正幸	現場代理人	遠田 渉	コア鑑定者	村中 英寿	ボーリング責任者	越田 健一郎
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 TL-2000
総掘進長	200.40m							エンジン	ポンプ MG-40

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%] (0 20 40 60 80)	岩級区分	孔内水位／測定月日	ルジオン試験 ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図 P：有効注入圧力 MPa Q：注入量 l/min/m ( )：換算ルジオン値 (( ))：限界圧力	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
148																				68							
149																			2/6								
150											深度150mのｽﾗｲﾑは砂岩。												7000	46			
151																				56							
152																			2/7								
153																					150／ケーシング						
154				砂岩																29				3	泥水／500		500
155																			2/8								
156																											
157																				31			7500	46			
158																			2/9								
159																				38							
160	-124.27	160.00									深度160mのｽﾗｲﾑは砂岩。	12[22](65)	CL						2/11		269	ダブルコアチューブ					
161							Ⅲ				中粒砂岩。2-3mm以下の岩片混入。硬質。層理面不明瞭。全般に白色の方解石細脈が分布する。深度160.70m・162.40m付近のｸﾗｯｸは60～70° 傾斜で方解石脈付着。	63[86](100)	CH										800	87	2	泥水／86		83
162							Ⅱ					35[87](100)							3/7	24					2	泥水／86		83
163					灰						60° 以上の高角度亀裂は、160-163m、165-166m、168-172m付近に見られる。亀裂沿いに半透明の付着物が確認される。	20[41](100)	CM								40				10	泥水／86		86
164							Ⅲ					20[30](100)	CL						3/8					10	泥水／86	泥水／120	120
165							Ⅱ				定方位サンプリング：深度165.5m N11° E。	35[57](100)	CH											8	泥水／86		83
166							Ⅲ					38[65](100)								106				10	泥水／86		83
167							Ⅱ					40[81](100)					圧裂 間隙率 密度 比重 含水量 一軸 超音波 超音波 密度 一軸 超音波 密度		3/9								
168												22[75](100)	CM														
169				砂岩		B	Ⅲ	b	β	1	深度169.60m付近、深度170.40m付近、深度171.80m付近のｸﾗｯｸは70-80° 傾斜で方解石付着。	28[65](100)	CL															
170							Ⅱ					16[30](100)	CM							100			1000	87	8	泥水／86		83
171							Ⅲ					6[0](100)	CL CM														
172							Ⅳ					18[30](100)	CL														
173							Ⅲ					59[98](100)	CM						3/10								
174							Ⅱ					24[68](100)	CL														
175							Ⅲ				定方位サンプリング：深度175m N83° W、　深度176.7m　S5° E。	39[82](100)	CM														
176							Ⅱ					31[93](100)	CH							113				11	泥水／86		83
177	-141.47	177.20					Ⅲ				砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩中に	20[54](100)	CM											10	泥水／86		83

ボーリング柱状図

調査名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳島阿南市地区)
事業・工事名	東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事(徳

ボーリングNo. 5 0 3 4 6 4 3 8 0 0 0

シートNo.

ボーリング名	I2	調査位置	徳島県阿南市桑野町桑野谷34番地1南部健康運動公園の敷地内	北緯	33° 51’ 57.9978″
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター	調査期間	平成19年11月22日～平成20年 3月17日	東経	134° 36’ 16.3531″
調査業者名	株式会社 エオネックス 電話 076-238-1181	主任技師	南澤 正幸	現場代理人	遠田 渉
コア鑑定者	村中 英寿	ボーリング責任者	越田 健一郎		
孔口標高	35.73m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総掘進長	200.40m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		
使用機種 試錐機	TL-2000	エンジン		ポンプ	MG-40

標高 m	深度 m	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
-141.47	177.20								
-143.03	178.76	砂岩		D / C	Ⅲ / Ⅶ / Ⅲ	d / b	δ / β	4 / 1	砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩中に黒色頁岩片・薄層挟在。178.20m付近では固結度低く軟質で土砂状の泥岩分布。
-143.39	179.12	頁岩	黒	C	Ⅳ / Ⅴ	c	γ	2	黒色頁岩。φ2cm以下の礫状。深度178.20～180.40m区間は破砕区間に当たると想定される。
-144.27	180.00	砂岩	灰	B	Ⅲ	b			砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩。黒色頁岩薄層挟在。
-144.55	180.28	頁岩	黒	C	Ⅳ	c			黒色頁岩。
-144.72	180.45	砂岩							砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩。黒頁岩薄層挟在。
-148.52	184.25	砂岩	灰	B / C / B	Ⅱ / Ⅲ / Ⅱ	b	β	1	中粒砂岩。2-3mm以下の岩片混入。硬質。層理面不明瞭。全般に白色の方解石細脈が分布する。 定方位サンプリング：深度181.7m S22° W。深度182.50m付近のｸﾗｯｸは70° 傾斜で頁岩挟在。
-148.89	184.62	砂岩		C	Ⅳ				砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩中に黒色頁岩薄層挟在。
-149.32	185.05	頁岩	黒	D / C	Ⅶ / Ⅴ	d / c	δ / γ	4 / 2	黒色頁岩。土砂状泥岩・φ3cm以下の細片。一部砂岩片混入。深度184.20～185.00m区間は破砕区間に当たると想定される。
		砂岩	灰	B	Ⅱ / Ⅲ / Ⅱ / Ⅲ / Ⅱ / Ⅲ	b	β	1	砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩。2-3mm以下の岩片混入。硬質。層理面不明瞭。全般に白色の方解石細脈が分布する。187.50m付近に黒色頁岩挟在。 深度185.00m付近にﾍｱｰｸﾗｯｸ又は虫食い状小ｸﾗｯｸ分布。方解石脈多い。深度188.30m付近の頁岩との境
-152.57	188.30	砂岩	灰	B	Ⅲ	b	β		界は50° 傾斜。
-154.62	190.35	頁岩	黒	C	Ⅳ / Ⅲ / Ⅳ	c / b / c	γ / β / γ	1 / 2	頁岩(砂岩混入)。188.30-189.20mは黒色頁岩。189.20-189.87mは頁岩基質にφ5cm以下の砂岩片混入。189.87-190.35m黒色頁岩。
-155.52	191.25	砂岩		B	Ⅱ / Ⅲ	b			中粒砂岩。2-3mm以下の岩片混入。硬質。層理面不明瞭。
-156.92	192.65	砂岩		C	Ⅳ / Ⅲ / Ⅴ	c	β	1	砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩中に黒色頁岩薄層挟在。ほぼ鉛直° の割れ目が2～3本存在。
-159.09	194.82	砂岩	灰	B	Ⅲ	b			中粒砂岩。2-3mm以下の岩片混入。硬質。層理面不明瞭。
-160.77	196.50	砂岩			Ⅴ / Ⅲ	c / b	γ	2	砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩中に黒色頁岩薄層挟在。深度194.80～195.00m区間は破砕区間に当たると想定される。196.00-196.50mに方解石脈多い。196.30mのｸﾗｯｸは65° 傾斜。
-161.37	197.10	頁岩	黒	C	Ⅲ	c			頁岩（砂岩混入）。黒色頁岩。部分的に砂岩片混入。
-164.27	200.00	砂岩	灰	B	Ⅳ / Ⅱ	b	β	1	砂岩（頁岩挟在）。中粒砂岩。2-3mm以下の岩片混入。硬質。層理面不明瞭。黒色頁岩薄層挟在。198～199mに50～70° 傾斜のｸﾗｯｸ（頁岩挟在）。 深度199.70m付近に淡く層理が見られ、40～50° 傾斜。定方位サンプリング：深度200.4m N66° E.。

最大コア長 cm [RQD %] (コア採取率 %)	岩級区分
20[54](100)	CM
18[28](100)	D / CL
	D
9[0](100)	D
31[53](100)	CL
33[73](100)	CH
25[73](100)	CL
21[60](100)	CM
22[22](100)	CL / D
27[90](100)	CM
36[74](100)	CL
25[82](100)	CM
20[50](100)	CM
8[0](100)	CL
34[66](100)	CH
8[0](100)	CL / CM
14[14](100)	CL
15[26](100)	CM
17[59](100)	CM
28[62](100)	CL
15[38](100)	CM / CL
17[56](100)	CM / CL
28[52](100)	CM
45[97](100)	CH

掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
3/11			DC			10	泥水/86	83
3/12	76	98		500	87	12	泥水/77	73
						10	泥水/77	73
						12	泥水/77	73
						16	泥水/77	73
3/13	36					10	泥水/64	61
	88			1000	87	10	泥水/64	61
3/14	88					10	泥水/64	61
						12	泥水/64	61
	87					10	泥水/64	61
3/15		98	ダブルコアチューブ/DC	1000	87	8	泥水/64	61
						10	泥水/64	61
3/16	55					12	泥水/64	61
						10	泥水/64	61
3/17	88					8	泥水/64	61

P－Q図 P：有効注入圧力 MPa Q：注入量 l/min/m ( )：換算ルジオン値 (( ))：限界圧力